

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約 5 年間（2015年 5 月 7 日～2020年 5 月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のＤＲ（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ＥＴＦ）
マザーファンドの運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のＤＲ（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたＥＴＦをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態での高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	
	ベビーファンドの株式実質組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

メキシコ株ファンド

運用報告書(全体版)
第 6 期

(決算日 2018年 5 月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「メキシコ株ファンド」は、このたび、第 6 期の決算を行ないました。
ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 1 号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の 9：00～17：00）
<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
		税込み 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2 期末 (2016年 5 月17日)	8, 771	0	△ 10. 3	7, 814	△ 15. 1	97. 3	—	—	154
3 期末 (2016年11月17日)	7, 599	0	△ 13. 4	6, 932	△ 11. 3	96. 0	—	1. 5	119
4 期末 (2017年 5 月17日)	9, 243	0	21. 6	8, 558	23. 5	92. 7	—	4. 4	164
5 期末 (2017年11月17日)	8, 809	0	△ 4. 7	8, 124	△ 5. 1	93. 8	—	4. 9	165
6 期末 (2018年 5 月17日)	8, 809	0	0. 0	7, 526	△ 7. 4	90. 5	—	8. 4	197

(注 1) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10, 000として大和投資信託が計算したものです。

(注 2) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

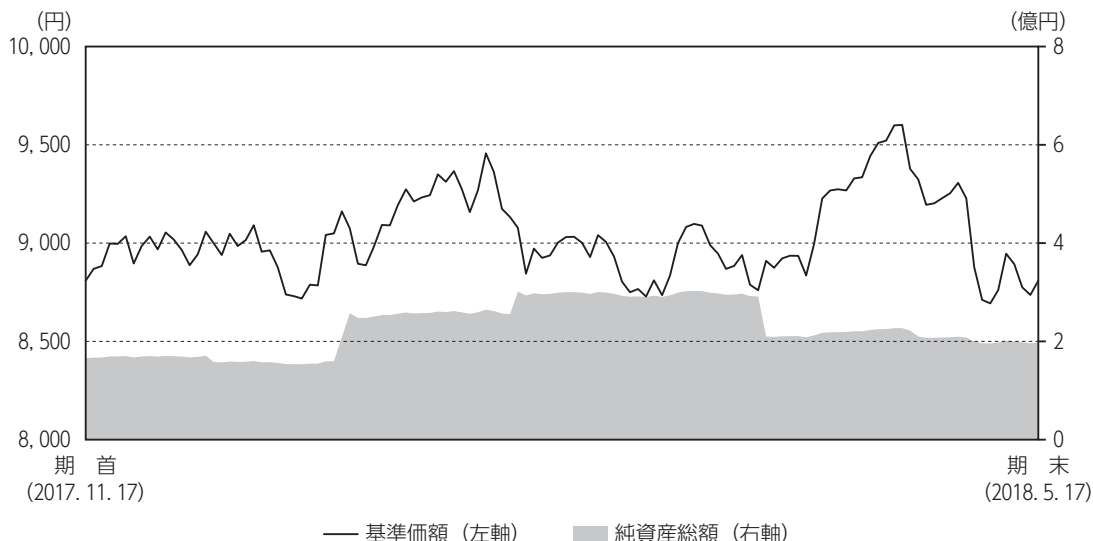
(注 3) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期 首：8,809円

期 末：8,809円

騰落率：0.0%

■ 基準価額の主な変動要因

2018年7月に予定されているメキシコ大統領選挙の世論調査で、左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドール氏が支持率でリードを広げたため、同氏の経済政策などへの懸念から、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、為替相場ではメキシコ・ペソが対円で下落しましたが、銘柄選択が奏功して保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで上昇したため、期首比で基準価額は横ばいでした。

メキシコ株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2017年11月17日	円	%		%	%	%	%
	8,809	—	8,124	—	93.8	—	4.9
11月末	9,033	2.5	8,240	1.4	94.0	—	4.8
12月末	8,785	△ 0.3	8,048	△ 0.9	93.0	—	4.8
2018年 1 月末	9,158	4.0	8,385	3.2	91.0	—	7.0
2 月末	8,804	△ 0.1	7,846	△ 3.4	92.0	—	6.4
3 月末	8,936	1.4	7,742	△ 4.7	91.2	—	6.5
4 月末	9,254	5.1	8,066	△ 0.7	87.7	—	8.4
(期末) 2018年 5 月17日	8,809	0.0	7,526	△ 7.4	90.5	—	8.4

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 11. 18 ~ 2018. 5. 17)

■メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は、期首から2018年1月にかけて、税制改革により米国景気が加速し、メキシコ景気も恩恵を受けるとの期待から上昇しました。しかし、米国の長期金利上昇や米国・中国間の貿易摩擦への懸念が高まったため世界的に株式市場が下落したことを受けて、3月にかけてメキシコ株式市場も下落しました。その後、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉において米国が自動車分野で譲歩する姿勢を見せたことが好感され、4月には反発しました。しかし期末にかけては、7月に予定されている大統領選挙の世論調査で左派政党MORENAのオブラドール氏がリードを広げたことが嫌気され、軟調な展開が続きました。

■為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。期首から2018年1月にかけては方向感のない展開が続きましたが、3月にかけては、米国の長期金利上昇や米国・中国間の貿易摩擦懸念を背景に下落しました。その後、NAFTA再交渉への楽観的な見方が強まったため、4月半ばにかけて反発しましたが、大統領選挙の世論調査でMORENAのオブラドール氏がリードを広げたことが嫌気され、期末にかけて再び下落しました。

前期における「今後の運用方針」

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

■メキシコ株マザーファンド

メキシコ株式市場は、短期的な不透明感が強まっています。NAFTA再交渉は成功裏に終わるとみていますが、交渉の長期化が予想されます。また、2018年7月にはメキシコ大統領選挙があり、2018年春ごろから選挙戦が本格化するに連れ、市場の注目を集めそうです。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

ポートフォリオについて

(2017. 11. 18 ~ 2018. 5. 17)

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

■メキシコ株マザーファンド

当期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。前期に続き、NAFTA再交渉や2018年7月のメキシコ大統領選挙で市場が不安定化する可能性に備え、業績の安定度が高い企業の組入比率を高位に維持しました。

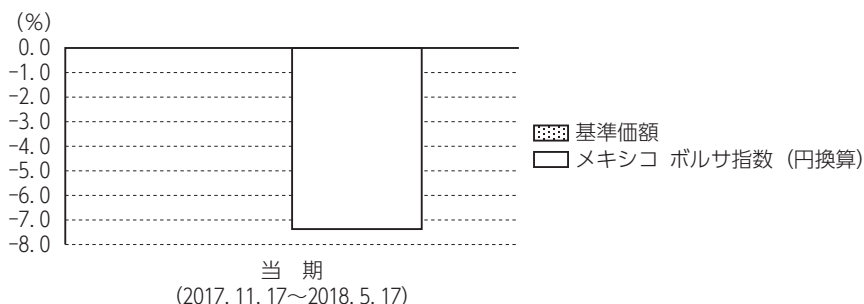
個別銘柄では、広告事業への過度な懸念から株価が大幅に下落し、割安な水準で取引されていたメディア会社 GRUPO TELEVISA（一般消費財・サービス）や、好業績にもかかわらず、株式市場全体の調整により下落した銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）などを買い付けました。一方で、メキシコや南米事業の業績見通しが悪化した飲料会社 ARCA CONTINENTAL（生活必需品）や他の金融機関と比較して相対的に割高感が強まった銀行 BANREGIO（金融）などを売却しました。

足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや食品会社を中心とした生活必需品セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、メディア会社 GRUPO TELEVISA（一般消費財・サービス）や銀行の GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）、BANCO DEL BAJIO（金融）を高位の組み入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目		当 期
		2017年11月18日 ～2018年5月17日
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	135

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

■メキシコ株マザーファンド

N A F T A再交渉は成功裏に終わるとみていますが、合意時期は引き続き見通しが立っていません。大統領選挙については、左派政党M O R E N Aのオブラドール氏の支持率上昇が市場に嫌気されていますが、同氏の経済政策は具体性や一貫性を欠いており、メキシコ経済にどのような影響を与えるかははっきりしません。このため、現時点では、同氏の勝利を過度に悲観的に考える必要はないとみています。いずれの候補者が勝利するにしても、選挙後は、徐々に具体化するであろう次期政権の経済政策を冷静に吟味し、対応していく方針です。また、上記の不透明感により、メキシコ株式市場はすでに魅力的なバリュエーションで取引されているため、不透明要因の解消を機に株式市場のバリュエーションが切上がる余地があるとみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めた構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 11. 18～2018. 5. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	80円	0. 884%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9, 035円です。
(投 信 会 社)	(39)	(0. 428)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 428)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(2)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	35	0. 391	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(33)	(0. 364)	
(投資信託証券)	(2)	(0. 027)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	37	0. 405	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(36)	(0. 397)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	152	1. 680	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

メキシコ株ファンド

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年11月18日から2018年 5月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
メキシコ株 マザーファンド	155,762	149,000	123,067	114,700

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年11月18日から2018年 5月17日まで)

項 目	当 期
	メキシコ株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	367,141千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	196,784千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.86

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

期首保有額	期中設定額	期中解約額	期末保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
100	—	—	100	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
メキシコ株 マザーファンド	179,507	212,201	197,326

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年 5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
メキシコ株マザーファンド	197,326	98.3
コール・ローン等、その他	3,320	1.7
投資信託財産総額	200,646	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.33円、1メキシコ・ペソ＝5.65円です。
(注3) メキシコ株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(195,832千円)の投資信託財産総額(201,749千円)に対する比率は、97.1%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年 5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	200,646,865円
コール・ローン等	2,420,239
メキシコ株マザーファンド（評価額）	197,326,626
未収入金	900,000
(B) 負債	2,869,135
未払解約金	862,577
未払信託報酬	2,000,537
その他未払費用	6,021
(C) 純資産総額（A－B）	197,777,730
元本	224,515,782
次期繰越損益金	△ 26,738,052
(D) 受益権総口数	224,515,782口
1万口当り基準価額（C／D）	8,809円

* 期首における元本額は188,206,612円、当期中における追加設定元本額は165,847,335円、同解約元本額は129,538,165円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,809円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は26,738,052円です。

■損益の状況

当期 自 2017年11月18日 至 2018年 5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 215円
受取利息	61
支払利息	△ 276
(B) 有価証券売買損益	△ 1,347,525
売買益	2,591,036
売買損	△ 3,938,561
(C) 信託報酬等	△ 2,006,680
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,354,420
(E) 前期繰越損益金	△ 8,569,700
(F) 追加信託差損益金	△ 14,813,932
(配当等相当額)	(1,860,955)
(売買損益相当額)	(△ 16,674,887)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 26,738,052
次期繰越損益金 (G)	△ 26,738,052
追加信託差損益金	△ 14,813,932
(配当等相当額)	(1,860,955)
(売買損益相当額)	(△ 16,674,887)
分配準備積立金	1,182,336
繰越損益金	△ 13,106,456

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。
- (注4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：627,914円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,860,955
(d) 分配準備積立金	1,182,336
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	3,043,291
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	3,043,291
(h) 受益権総口数	224,515,782口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

メキシコ株マザーファンド

運用報告書 第6期（決算日 2018年5月17日）

（計算期間 2017年11月18日～2018年5月17日）

メキシコ株マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ. メキシコの企業のＤＲ（預託証券） ハ. メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ＥＴＦ）
運用方法	①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のＤＲ（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたＥＴＦをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。 ②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ. 時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ. 株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。 ④株式等の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	無制限

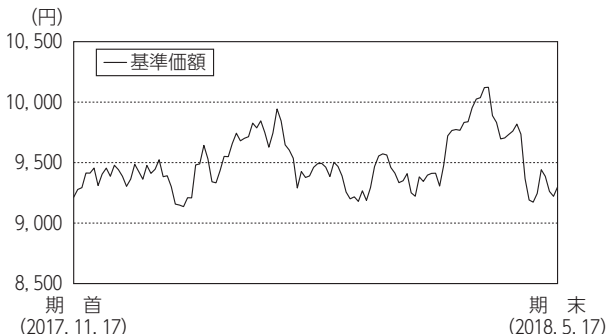
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準価額		メキシコ ボルサ指数 (円換算)		株式 組入 比率	株式 先物 比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率	比率	比率	比率
(期首) 2017年11月17日	9,214	—	8,124	—	94.0	—	4.9
11月末	9,454	2.6	8,240	1.4	94.2	—	4.8
12月末	9,208	△ 0.1	8,048	△ 0.9	93.1	—	4.8
2018年 1月末	9,627	4.5	8,385	3.2	91.2	—	7.0
2月末	9,257	0.5	7,846	△ 3.4	92.2	—	6.4
3月末	9,411	2.1	7,742	△ 4.7	91.4	—	6.5
4月末	9,760	5.9	8,066	△ 0.7	87.9	—	8.4
(期末) 2018年 5月17日	9,299	0.9	7,526	△ 7.4	90.7	—	8.4

(注 1) 騰落率は期首比。

(注 2) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：9,214円 期末：9,299円 騰落率：0.9%

【基準価額の主な変動要因】

2018年7月に予定されているメキシコ大統領選挙の世論調査で、左派政党MORENA（国家再生運動）のオブラドル氏が支持率でリードを広げたため、同氏の経済政策などへの懸念から、メキシコの株式市場や通貨は下落しました。このような環境の中、メキシコ株式に投資した結果、為替相場でメキシコ・ペソが対円で下落しましたが、銘柄選択が奏功して保有していたメキシコ株式が現地通貨建てで上昇したため、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は、期首から2018年1月にかけて、税制改革により米国景気が加速し、メキシコ景気も恩恵を受けるとの期待から上昇しました。しかし、米国の長期金利上昇や米国・中国間の貿易摩擦への懸念が高まったため世界的に株式市場が下落したことを受けて、3月にかけてメキシコ株式市場も下落しました。その後、NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉において米国が自動車分野で譲歩する姿勢を見せたことが好感され、4月には反発しました。しかし期末にかけては、7月に予定されている大統領選挙の世論調査で左派政党MORENAのオブラドル氏がリードを広げたことが嫌気され、軟調な展開が続きました。

○為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。期首から2018年1月にかけては方向感のない展開が続きましたが、3月にかけては、米国の長期金利上昇や米国・中国間の貿易摩擦懸念を背景に下落しました。その後、NAFTA再交渉への楽観的な見方が強まったため、4月半ばにかけて反発しましたが、大統領選挙の世論調査でMORENAのオブラドル氏がリードを広げたことが嫌気され、期末にかけて再び下落しました。

◆前期における「今後の運用方針」

メキシコ株式市場は、短期的な不透明感が強まっています。NAFTA再交渉は成功裏に終わるとみていますが、交渉の長期化が予想されます。また、2018年7月にはメキシコ大統領選挙があり、2018年春ごろから選挙戦が本格化するに連れ、市場の注目を集めそうです。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めている構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

◆ポートフォリオについて

当期は、株式組入比率を高位とし、経済情勢や業界動向等の分析と個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等の分析の組み合わせにより、ポートフォリオを構築しました。前期に続き、NAFTA再交渉や2018年7月のメキシコ大統領選挙で市場が不安定化する可能性に備え、業績の安定度が高い企業の組入比率を高位に維持しました。

個別銘柄では、広告事業への過度な懸念から株価が大幅に下落し、割安な水準で取引されていたメディア会社 GRUPO TELEvisa（一般消費財・サービス）や、好業績にもかかわらず、株式市場全体の調整により下落した銀行 GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）

メキシコ株マザーファンド

などを買い付けました。一方で、メキシコや南米事業の業績見通しが悪化した飲料会社 ARCA CONTINENTAL（生活必需品）や他の金融機関と比較して相対的に割高感が強まった銀行 BANREGIO（金融）などを売却しました。

足元のポートフォリオは、業種では、銀行を中心とした金融セクターや食品会社を中心とした生活必需品セクターを高位の組み入れとしました。個別銘柄では、メディア会社 GRUPO TELEVISIA（一般消費財・サービス）や銀行の GRUPO FINANCIERO BANORTE（金融）、BANCO DEL BAJO（金融）を高位の組み入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

NAFTA再交渉は成功裏に終わるとみていますが、合意時期は引き続き見通しが立っていません。大統領選挙については、左派政党 MORENA のオブラドール氏の支持率上昇が市場に嫌気されていますが、同氏の経済政策は具体性や一貫性を欠いており、メキシコ経済にどのような影響を与えるかははっきりしません。このため、現時点では、同氏の勝利を過度に悲観的に考える必要はないとみています。いずれの候補者が勝利するにしても、選挙後は、徐々に具体化するであろう次期政権の経済政策を冷静に吟味し、対応していく方針です。また、上記の不透明感により、メキシコ株式市場はすでに魅力的なバリュエーションで取引されているため、不透明要因の解消を機に株式市場のバリュエーションが切上がる余地があるとみています。

中長期的なメキシコ株式市場の見通しに変化はありません。高いコスト競争力を持つ輸出セクターの成長や、現政権が推し進めた構造改革による潜在成長率の押し上げなどを背景に、メキシコ株式市場の株価上昇トレンドは継続すると想定しています。当ファンドは、上記のような市場見通しの下、個別企業の利益成長率や株価バリュエーションなどに着目して銘柄選別を行ない、ポートフォリオを構築する方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	37円 (35) (3)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	38 (38) (0)
合 計	76

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注 2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式
(2017年11月18日から2018年 5 月17日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	メキシコ	百株 6, 914. 51 (—)	千メキシコ・ペソ 33, 721 (△ 27)	百株 6, 715. 56	千メキシコ・ペソ 29, 719

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) () 内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年11月18日から2018年 5 月17日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	メキシコ	千口 188. 801 (—)	千メキシコ・ペソ 3, 208 (△ 96)	千口 103. 7 (—)	千メキシコ・ペソ 1, 596 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。

(注 2) 買付 () 内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 3) 売付 () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1)株 式

(2017年11月18日から2018年5月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
GRUPO FINANCIERO BANOORTE-O (メキシコ)	33.2	20,983	632	ARCA CONTINENTAL SAB DE CV (メキシコ)	22.8	17,236	755
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO (メキシコ)	46.5	16,393	352	ALSEA SAB DE CV (メキシコ)	33.8	12,765	377
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L (メキシコ)	145	13,842	95	BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA (メキシコ)	18.6	11,766	632
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B (メキシコ)	12	13,310	1,109	AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L (メキシコ)	107	11,071	103
GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	9.3	12,931	1,390	WALMART DE MEXICO SAB DE CV (メキシコ)	37.4	10,484	280
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV (メキシコ)	29.2	10,463	358	BANCO DEL BAJIO SA (メキシコ)	38	8,464	222
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT (メキシコ)	18	9,740	541	BECLE SAB DE CV (メキシコ)	41	8,384	204
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N (メキシコ)	17.5	9,569	546	GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	22.5	8,367	371
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B (メキシコ)	27.5	8,964	325	GRUMA S. A. B. -B (メキシコ)	6.6	8,187	1,240
BANCO DEL BAJIO SA (メキシコ)	40	8,738	218	GRUPO HOTELERO SANTA FE SAB (メキシコ)	120.551	7,352	60

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2)投資信託証券

(2017年11月18日から2018年5月17日まで)

当 期				期 末			
買 付		金 額		売 付		金 額	
銘 柄	口 数	金 額	平均単価	銘 柄	口 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA (メキシコ)	139.8	9,255	66	CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA (メキシコ)	87	5,756	66
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	37.001	7,245	195	PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA (メキシコ)	16.7	3,526	211
PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIA (メキシコ)	12	2,043	170				

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期首		当期		期末		業種等
	株数	株数	評価額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
(メキシコ)	百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円			
INDUSTRIAS BACHOCO-SER B	79	147.95	1,396	7,890	生活必需品		
GRUPO AEROPORTUARIO DEL CENT	42	172	1,740	9,831	資本財・サービス		
BANREGIO GRUPO FINANCIERO SA	186	—	—	—	その他		
UNIFIN FINANCIERA SAB DE CV	—	212	1,270	7,180	金融		
MEGACABLE HOLDINGS-CPO	146	127	1,094	6,183	一般消費財・サービス		
QUALITAS CONTROLADORA SAB CV	180	145	744	4,208	金融		
LA COMER SAB DE CV	—	450	825	4,662	生活必需品		
GRUPO CEMENTOS CHIHUAHUA	155	162	1,712	9,675	素材		
BECLE SAB DE CV	314	334	1,057	5,976	生活必需品		
GRUPO HOTELERO SANTA FE SAB	990	—	—	—	一般消費財・サービス		

メキシコ株マザーファンド

銘柄		期首	当	期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
		百株	百株	千メキシコ・ペソ	千円	
BANCO DEL BAJIO SA		593	613	2,372	13,407	金融
GRUPO AEROPORT DEL PACIFIC-B		63	116	2,043	11,547	資本財・サービス
AMERICA MOVIL SAB DE C-SER L		850	1,230	2,033	11,487	電気通信サービス
GRUPO TELEvisa SAB-SER CPO		—	429	3,056	17,267	一般消費財・サービス
TELESITES SAB DE CV		498.2	778.2	1,108	6,261	電気通信サービス
CEMEX SAB-CPO		1,069.45	599.45	710	4,013	素材
GRUMA S. A. B. -B		76	103	2,245	12,689	生活必需品
FOMENTO ECONOMICO MEXICA-UBD		64	58	968	5,471	生活必需品
BOLSA MEXICANA DE VALORES SA		145	205	672	3,799	金融
EL PUERTO DE LIVERPOOL-C1		37	—	—	—	一般消費財・サービス
ARCA CONTINENTAL SAB DE CV		146	—	—	—	生活必需品
INFRAESTRUCTURA ENERGETICA N		158	203	1,701	9,611	公益事業
GRUPO AEROPORT DEL SURESTE-B		9	—	—	—	資本財・サービス
ALSEA SAB DE CV		256	148	1,028	5,813	一般消費財・サービス
GRUPO MEXICO SAB DE CV-SER B		140	190	1,076	6,083	素材
WALMART DE MEXICO SAB DE CV		254	—	—	—	生活必需品
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		23	250	2,802	15,831	金融
ファンド合計	株数、金額	6,473.65	6,672.6	31,662	178,893	
	銘柄数＜比率＞	24銘柄	21銘柄		<90.7%>	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国投資信託証券

銘 柄		期 首	当	期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
		千□	千□	千メキシコ・ペソ	千円
(メキシコ)					
PLA ADMINISTRADORA INDUSTRIA		—	12	343	1, 943
CONCENTRADORA FIBRA HOTELERA		112	164. 8	1, 878	10, 614
PROLOGIS PROPERTY MEXICO SA		—	20. 301	702	3, 970
合 計	□ 数、 金 額	112	197. 101	2, 925	16, 528
	銘 柄 数 < 比 率 >	1 銘柄	3 銘柄		<8. 4%>

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年5月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	178,893	88.7
投資信託証券	16,528	8.2
コール・ローン等、その他	6,327	3.1
投資信託財産総額	201,749	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.33円、1メキシコ・ペソ＝5.65円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(195,832千円)の投資信託財産総額(201,749千円)に対する比率は、97.1%です。

■損益の状況

当期 自 2017年11月18日 至 2018年5月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	1,405,233円
受取配当金	1,405,919
受取利息	445
支払利息	△ 1,131
(B) 有価証券売買損益	△ 2,914,987
売買益	17,609,830
売買損	△ 20,524,817
(C) その他費用	△ 871,068
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 2,380,822
(E) 前期繰越損益金	△ 14,103,776
(F) 解約差損益金	8,367,433
(G) 追加信託差損益金	△ 6,762,380
(H) 合計 (D + E + F + G)	△ 14,879,545
次期繰越損益金 (H)	△ 14,879,545

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年5月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	201,749,389円
コール・ローン等	3,127,205
株式 (評価額)	178,893,476
投資信託証券 (評価額)	16,528,853
未収入金	3,199,855
(B) 負債	4,426,948
未払金	3,526,906
未払解約金	900,000
その他未払費用	42
(C) 純資産総額 (A - B)	197,322,441
元本	212,201,986
次期繰越損益金	△ 14,879,545
(D) 受益権総口数	212,201,986口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,299円

* 期首における元本額は179,507,039円、当期中における追加設定元本額は155,762,380円、同解約元本額は123,067,433円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ株ファンド212,201,986円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,299円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は14,879,545円です。